【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】令和1年7月25日(2019.7.25)

【公表番号】特表2019-516775(P2019-516775A)
【公表日】令和1年6月20日(2019.6.20)
【年通号数】公開・登録公報2019-023
【出願番号】特願2018-562173(P2018-562173)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　35/745　(2015.01)
Ａ６１Ｋ　35/747　(2015.01)
Ａ６１Ｋ　38/46　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　38/47　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　38/48　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　1/04　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　1/14　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　3/02　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　3/06　(2006.01)
Ａ２３Ｌ　33/135　(2016.01)
Ａ２３Ｌ　33/17　(2016.01)
Ｃ１２Ｎ　1/20　(2006.01)
Ｃ１２Ｎ　9/26　(2006.01)
Ｃ１２Ｎ　9/16　(2006.01)
Ｃ１２Ｎ　9/24　(2006.01)
Ｃ１２Ｎ　9/42　(2006.01)
Ｃ１２Ｎ　9/50　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　35/745
Ａ６１Ｋ　35/747
Ａ６１Ｋ　38/46
Ａ６１Ｋ　38/47
Ａ６１Ｋ　38/48
Ａ６１Ｐ　1/04
Ａ６１Ｐ　1/14
Ａ６１Ｐ　3/02
Ａ６１Ｐ　3/06
Ａ２３Ｌ　33/135
Ａ２３Ｌ　33/17
Ｃ１２Ｎ　1/20　Ｅ
Ｃ１２Ｎ　9/26　Ａ
Ｃ１２Ｎ　9/16　Ｚ
Ｃ１２Ｎ　9/24
Ｃ１２Ｎ　9/42
Ｃ１２Ｎ　9/50
Ｃ１２Ｎ　9/26　Ｚ

【手続補正書】
【提出日】令和1年5月20日(2019.5.20)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
医薬組成物であって、ビフィドバクテリウム・インファンティス、ビフィドバクテリウム・ビフィダム、ラクトバチルス・アシドフィルス、ラクトバチルス・サリバリウス、ラクトバチルス・プランタルム、ラクトバチルス・ラムノサス、ビフィドバクテリウム・ロンガム、ラクトバチルス・カゼイ、及びラクトバチルス・パラカゼイを含むプロバイオティクスの製剤；ならびにアミラーゼ、グルコアミラーゼ、リパーゼ、ブロメライン、マルターゼ、ラクターゼ、ヘミセルラーゼ、キシラナーゼ、パパイン、及びインベルターゼを含む消化酵素の製剤を含む医薬組成物。
【請求項２】
前記プロバイオティクス及び消化酵素の製剤が複数のカプセルに含有されている請求項１に記載の医薬組成物。
【請求項３】
前記プロバイオティクス及び消化酵素の製剤が、同一、単一のカプセルに存在する請求項２に記載の医薬組成物。
【請求項４】
前記プロバイオティクスの製剤が、ビフィドバクテリウム・インファンティス－５０～７０億ｃｆｕ、ビフィドバクテリウム・ロンガム－７.５億～２０億ｃｆｕ、ビフィドバクテリウム・ビフィダム－３０～５０億ｃｆｕ、ラクトバチルス・ラムノサス-５０～７０億ｃｆｕ、ラクトバチルス・アシドフィルス－１０－３０億ｃｆｕ、ラクトバチルス・サリバリウス－１０～３０億ｃｆｕ、ラクトバチルス・プランタルム－１０～３０億ｃｆｕ、ラクトバチルス・カゼイ－７.５億～２０億ｃｆｕ、ラクトバチルス・パラカゼイ－１０～３０億ｃｆｕの量でプロバイオティクスを含む、請求項１に記載の医薬組成物。
【請求項５】
前記プロバイオティクスの製剤が、ビフィドバクテリウム・インファンティス－６０億ｃｆｕ、ビフィドバクテリウム・ロンガム－１０億ｃｆｕ、ビフィドバクテリウム・ビフィダム－４０億ｃｆｕ、ラクトバチルス・ラムノサス－６０億ｃｆｕ、ラクトバチルス・アシドフィルス－２０億ｃｆｕ、ラクトバチルス・サリバリウス－２０億ｃｆｕ、ラクトバチルス・プランタルム－２０億ｃｆｕ、ラクトバチルス・カゼイ－１０億ｃｆｕ、ラクトバチルス・パラカゼイ－２０億ｃｆｕの量でプロバイオティクスを含む、請求項４に記載の医薬組成物。
【請求項６】
前記消化酵素の製剤が、ヘミセルラーゼ－５～１１ｍｇ、キシラナーゼ－２～６ｍｇ、アミラーゼ－０．５～２．５ｍｇ、グルコアミラーゼ－３０～７０ｍｇ、マルターゼ－８～１２ｍｇ、パパイン－０．５～３ｍｇ、プロテアーゼ、例えばブロメライン－１３～２３ｍｇ、リパーゼ－１８～３２ｍｇ、インベルターゼ－０．５～３ｍｇ、ラクターゼ－８．０～１１ｍｇの量で酵素を含む、請求項１に記載の医薬組成物。
【請求項７】
前記消化酵素の製剤が、ヘミセルラーゼ－８ｍｇ、キシラナーゼ－３．９ｍｇ、アミラーゼ－１．３３ｍｇ、グルコアミラーゼ－５０ｍｇ、マルターゼ－１０ｍｇ、パパイン－１．７ｍｇ、ブロメライン－１８ｍｇ、リパーゼ-２５ｍｇ、インベルターゼ－１．５ｍｇ、及びラクターゼ－９．５ｍｇの量で酵素を含む、請求項６に記載の医薬組成物。
【請求項８】
医薬組成物であって、（ａ）ビフィドバクテリウム・インファンティス、ビフィドバクテリウム・ビフィダム、ラクトバチルス・アシドフィルス、ラクトバチルス・サリバリウス、ラクトバチルス・プランタルム、ラクトバチルス・ラムノサス　ＧＧ、ビフィドバクテリウム・ロンガム、ラクトバチルス・カゼイ、ラクトバチルス・パラカゼイを含むプロ

バイオティクス製剤、及び（ｂ）消化酵素の製剤を含む医薬組成物。
【請求項９】
前記製剤の消化酵素が、ａ）プロテアーゼ、ｂ）炭水化物消化酵素、ｃ）繊維消化酵素、及び、ｄ）リパーゼからなる群から選択される、請求項８に記載の医薬組成物。
【請求項１０】
前記炭水化物消化酵素が、ａ）アミラーゼ、ｂ）グルコアミラーゼ、ｃ）ラクターゼ、ｄ）インベルターゼ、及び、ｅ）マルターゼからなる群から選択される、請求項９に記載の医薬組成物。
【請求項１１】
前記繊維消化酵素が、ａ）キシラナーゼ、及び、ｂ）ヘミセルラーゼから成る群から選択される、請求項９に記載の医薬組成物。
【請求項１２】
前記プロバイオティクス及び消化酵素の製剤が、同一、単一の製剤中に製剤化されている、請求項８に記載の医薬組成物。
【請求項１３】
前記消化酵素の製剤が、少なくとも２つのプロテアーゼを含む、請求項９に記載の医薬組成物。
【請求項１４】
治療の方法における使用のための、請求項１に記載の医薬組成物であって、前記方法は、血中低密度リポタンパク質コレステロール（ＬＤＬ－Ｃ）及び／又はトリグリセリド濃度の低下を必要とする哺乳動物を同定することと、必要とする対象においてＬＤＬ－Ｃ及び／又はトリグリセリドを低下させるのに十分な量の前記医薬組成物を前記哺乳動物に投与することとを含む、医薬組成物。
【請求項１５】
前記プロバイオティクスの製剤及び消化酵素の製剤が経口カプセル中に組み合わされる、請求項１４に記載の医薬組成物。
【請求項１６】
前記プロバイオティクスの製剤が、ビフィドバクテリウム・インファンティス－５０～７０億ｃｆｕ、ビフィドバクテリウム・ロンガム－７．５億及び２０億ｃｆｕ、ビフィドバクテリウム・ビフィダム－３０～５０億ｃｆｕ、ラクトバチルス・ラムノサス－５０～７０億ｃｆｕ、ラクトバチルス・アシドフィルス－１０～３０億ｃｆｕ、ラクトバチルス・サリバリウス－１０～３０億ｃｆｕ、ラクトバチルス・プランタルム－１０～３０億ｃｆｕ、ラクトバチルス・カゼイ－７.５億～２０億ｃｆｕ、ラクトバチルス・パラカゼイ－１０～３０億ｃｆｕの量でプロバイオティクスを含む、請求項１４に記載の医薬組成物。
【請求項１７】
前記プロバイオティクスの製剤が、ビフィドバクテリウム・インファンティス－６０億ｃｆｕ、ビフィドバクテリウム・ロンガム－１０億ｃｆｕ、ビフィドバクテリウム・ビフィダム－４０億ｃｆｕ、ラクトバチルス・ラムノサス－６０億ｃｆｕ、ラクトバチルス・アシドフィルス－２０億ｃｆｕ、ラクトバチルス・サリバリウス－２０億ｃｆｕ、ラクトバチルス・プランタルム－２０億ｃｆｕ、ラクトバチルス・カゼイ－１０億ｃｆｕ、ラクトバチルス・パラカゼイ－２０億ｃｆｕの量でプロバイオティクスを含む、請求項１６に記載の医薬組成物。
【請求項１８】
前記消化酵素の製剤が、ヘミセルラーゼ－５～１１ｍｇ、キシラナーゼ－２～６ｍｇ、アミラーゼ－０．５～２．５ｍｇ、グルコアミラーゼ－３０～７０ｍｇ、マルターゼ－８～１２ｍｇ、パパイン－０．５～３ｍｇ、プロテアーゼ、例えばブロメライン－１３～２３ｍｇ、リパーゼ－１８～３２ｍｇ、インベルターゼ－０．５～３ｍｇ、ラクターゼ－８．０～１１ｍｇの量で酵素を含む、請求項１４に記載の医薬組成物。
【請求項１９】

前記消化酵素の製剤が、ヘミセルラーゼ－８ｍｇ、キシラナーゼ－３．９ｍｇ、アミラーゼ－１．３３ｍｇ、グルコアミラーゼ－５０ｍｇ、マルターゼ－１０ｍｇ、パパイン－１．７ｍｇ、ブロメライン－１８ｍｇ、リパーゼ－２５ｍｇ、インベルターゼ－１．５ｍｇ、及びラクターゼ－９．５ｍｇの量で酵素を含む、請求項１８に記載の医薬組成物。